

魅惑 (1949)

ENCHANTMENT

メディア 映画

ジャンル

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 101分

初公開日 1952/08/15

公開情報 大映洋画部

【解説】

原作はルーマー・ゴッデンで、『嵐ヶ丘』的でもある、語りようによっては面白くなりそうな話だが、何か上っ面をなせただけの演出で、中盤以降、完全に失速するI・ライス監督作。最も撮影監督トーランドが実質的な監督だったとする説が有力で、ライスはその尻拭いに登板しただけかも知れない。いきなり、舞台となる“館”の独白で始まる物語は、そこの現在の当主である退役将軍ロロ・デイン（ニーヴン）の回想と、彼を訪ねた兄の孫娘、米軍婦人部隊のブリゼル（E・キース）の現在の若人の恋愛が交互に描かれる。ロロは館で兄妹同様に育てられたラク（ライト）を愛するようになったが、彼女を憎んでいた姉の介入で仲を引き裂かれ、彼女はイタリアの侯爵家に嫁ぎ、ロロは生涯を独身で通した。だから、ラクの甥の負傷兵パックス（グレンジャー）と恋に落ちたブリゼルが、戦争を理由に彼と別れようとしているのを知ると、自分の二の舞はなるなーと、彼女を叱咤するのである。果して、どちらの恋愛の描かれ方もいたって底が浅く、トーランドの技巧も場面転換の処理に、ちょっとニヤリとさせられるだけ。

【クレジット】

監督	アーヴィング・ライス	Irving Reis
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn
原作	ルーマー・ゴッデン	Rumer Godden
脚本	ジョン・パトリック	John Patrick
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland
音楽	エミール・ニューマン	Emil Newman
出演	デヴィッド・ニーヴン	David Niven
	テレサ・ライト	Teresa Wright
	イヴリン・キース	Evelyn Keyes
	ファーリー・グレンジャー	Farley Granger
	レオ・G・キャロル	Leo G. Carroll